

(お知らせ)

令和 8 年 1 月 2 7 日  
防 衛 省  
内 閣 官 房

1 . 北朝鮮は本日、北朝鮮西岸付近から、2 発の弾道ミサイルを、東方向に向けて発射しました。詳細については現在日米韓で緊密に連携して分析中ですが、落下したのは北朝鮮東岸付近であり、いずれも我が国の排他的経済水域 ( E E Z ) 外であると推定しています。

1 5 時 5 4 分頃発射し、最高高度約 8 0 k m 程度で、約 3 5 0 k m 程度飛翔。

1 6 時 2 分頃発射し、最高高度約 7 0 k m 程度で、約 3 4 0 k m 程度飛翔。

2 . 政府より、付近を航行する航空機や船舶への情報提供を行ったところ、現時点において被害報告等の情報は確認されていません。

3 . 総理には、本件について直ちに報告を行い、  
情報収集・分析に全力を挙げ、国民に対して、迅速・的確な  
情報提供を行うこと  
航空機、船舶等の安全確認を徹底すること  
不測の事態に備え、万全の態勢をとること  
の 3 点について指示がありました。

4 . 政府においては、官邸危機管理センターに設置している「北朝鮮情勢に関する官邸対策室」において、関係省庁からの情報を集約するとともに、緊急参集チームを招集し、対応について協議を行いました。

- 5 . また、防衛省においては、防衛大臣が総理指示を受け、  
米国、韓国等と緊密に連携しつつ、情報収集・分析に全力を挙げること  
不測の事態の発生に備え、引き続き警戒監視に万全を期すことの2点について指示を出しました。
- 6 . これまでの弾道ミサイル等の度重なる発射も含め、一連の北朝鮮の行動は、我が国、地域及び国際社会の平和と安全を脅かすものです。また、このような弾道ミサイル発射は、関連する安保理決議に違反し、国民の安全に関わる重大な問題です。我が国としては、北朝鮮に対して厳重に抗議し、強く非難しました。
- 7 . 国民の生命・財産を守り抜くため、引き続き、米国や韓国等とも緊密に連携し、情報の収集・分析及び警戒監視に全力をあげるとともに、今後追加して公表すべき情報を入手した場合には、速やかに発表することとします。

